

価値観の違う人と暮らし、働く

島しづ子

2010年もみなさまよろしくお願ひ致します。

愛実の会では、昨年12月23日に法人全体の総会を開いて木場町に引越しを決めました。建物は賃貸ですが、内部は全改装して、各部署が使いやすい設備になる予定なので、嬉しい引越しです。この計画にも多くの方々のご協力下さいました。心から感謝申し上げます。

三つの家と厨房と事務所が一箇所に集まるので、期待ばかりでなく不安もあります。そんな中で思い出すのは、2001年にフランスでお会いしたギャリさんの言った言葉です。私が新しい事業を考えていた時に「島さん、価値観の違う人と仕事をして下さいね」とアドバイスしてくれたのです。「価値観の違う人とは仕事が出来ない、一緒に暮らせない」というのが私たちの一般的な常識ですから、私は不可解な顔をしました。ギャリさんは続けて言いました。「なぜなら私たちは人生の終わりまで、成長しなくてはなりませんからね。」と。ギャリさんの暮すラルシュ・ホームでは国も違う、習慣も違うアシスタントが大勢いました。葛藤も多く、難しく、その体験から、ラルシュ・ホームでは特に話し合うことが大事だということが分かったようです。

その後、私も自分の人生を振り返り、周囲を見回してこの言葉「価値観の違う人と働くこと」の意味深さを思いました。

人間のストレスの大半は「自分の思うようにならない」という状況や人間関係に起因します。でも、不如意な人間関係や状況に囲まれ、どうやってこの人と暮らそう、どう話そう、どう和解しよう、などと努力せざるをえません。その結果、自分だけが正しい訳でなく、むしろ相手の考えややりの方が良かったということも発見してきました。年を重ねて思うのは、自分と意見の違う人は大事な存在だということです。会社でもそうだと思いますが、イエスマンばかりの組織は強固に見えて実は脆いものです。もちろん意見の違いはしんどいけれど、それは悩むに値する貴重な状況だと言えます。その悩みを通して、私たちは互いの存在から学ばされ、成長させられるように思います。

人生の旅半ばのメンバーやアシスタントの皆さん、これからも「一分張りして」成長し合ひましょう。この成長とは自分がこだわっているものから私たちを解放してくれます。そして人生の深い味わいを与えてくれるでしょう。



「事務」って何だろう？

今年の冬は予想より寒かったというのが私の感想ですが、皆様はどうお感じでしょうか？この原稿を書いているのは2月上旬ですが、2月に入ると寒いながらも春が近くなつたと感じます。夕方暗くなるのが遅くなってきた、と感じています。

さて、私は現在事務所での勤務が主です。事務所での勤務なので、事務担当というのがメインの役割です。ところで、「事務」って何ですか？と問われたら皆さんはどういう答えをされるのでしょうか？なんとなく漠然とした感じを持つ言葉だという印象もあります。具体的なイメージとしては書類を作成したり、お金の出し入れや帳簿記入をしたり、という姿が思い浮かぶのかな、と思います。また、「事務的に事を進める」という言い方をすると、人間の気持ちを大切にせずに進めていくような印象もあり、ますます「事務」とは何か？がわからなくなるような感覚にもなります（でも、実際はいつもこんな事を深く考えながら仕事をしているわけではないのですが）。

ただ、逆に「事務」機能が無い、という職場があるのか？と問われれば、それでは組織全体が困ることになるので、「事務」担当者は必要不可欠な役割を与えて頂いているのだな、と思います。

中森由哉

「小窓から」 7

大野義徳

まだ寒い中にあっても、春は一步ずつ着実に近づいてきている。この春を告げる草花の中でも好きなのは、オオイヌノフグリ、だ。ペロニカ、とも呼ばれるこの小さな青い花の群れが風に小刻みに揺れているのを見ると、春が来たことを実感する。

あるとき、この花の群れを眺めていた時に、ふと気づかされた。私が見下ろしているのではなくて、花々が私を見上げているのではないかと。まるで挨拶をしているように、あるいは「さえない表情ね」と気づかってくれているように。

似たような感覚は、動物園に行ったときにもあって、動物たちから私たちが観察されているのではないかと、という思いがよぎる。動物たちにしてみれば、自分が動かなくても、人間のほうがあとからあとからやってきてくれる、いわば居ながらにして楽しめるわけだ。

出会いは対等だ、とそう思う。自然や物に対してもそうだし、ましてや人間相手ならなおさらだ。

愛実でもそうだ。私たちアシスタントがメンバーを見ているようで、実はメンバーの方がはるかに感覚鋭く我々を見ている。我慢強く見ている。許してくれている、とも言えるのかもしれない。

この「出会い」が私たちの原動力だ。これにどこまで答えていけるのか、一人一人の力は小さくても、よい面を合わせて大きな力にしていきたい。



大地の家 & 愛実友だちの家のページ



普段はメンバーの希望や活動内容に合わせて別々の場所で別々の活動をしている大地の家と愛実友だちの家ですが、年に何回は合同で活動を楽しむことがあります。
今回はそんな合同デイの一つであるクリスマス会の様子をご紹介します。

当日はほとんどのメンバーがご家族とともに出席してくれます。
久しぶりに会うメンバー同士だけでなく、お母さん方同士も話に花が咲くようです。

10時半を回るといよいよクリスマス会の始まりです。
まずは『活動紹介』として1年間に撮りためた写真をスライドショー形式にまとめたものを上映。

ぐっと胸打つBGMに1年間のデイの様子が眩しく映り、アシスタントは感動の涙を堪えるのに必死です。
感動さめやらぬ状態でメインイベントのハンドベル演奏。

これは一昨年から恒例の出し物。

夏を過ぎたらみんなで演奏したい曲を選び、練習に入ります。

メンバー一人でも、アシスタント一人でも、上手にベルを鳴らすことはできないけれど、力を合わせて取り組むことでだんだん曲らしくなっていきます。

うまい演奏ができなくても良い。一緒に頑張って取り組んだプロセスや気持ち伝わるような演奏をしようという心持ちで、本番に臨みました。

リトミックの中にもハンドベルの練習を取り入れてもらい、プロの指導もばっちり。当日の指揮も朝倉先生にお願いして気分は最高潮。

ちょっとばかしミスはあったけれども、メンバー、アシスタントが一体となってあたたかい演奏ができたのではと思っています。

演奏が終わったらいよいよお楽しみのクリスマスランチ。

昨年のメニューはチキンのトマト煮込みに温野菜、パイザンヌスープにパン、そしてケーキとレストランさながら。

ランチをしながらメンバーがご家族のために用意したプレゼントを配布。
昨年は春に仕込んだ味噌に福祉フェスタで取り組んだフェルトボールを使ったリース、恒例のその年ピカイチのメンバーの写真と盛りだくさん。

みなさんに喜んでもらったのではと思っています。

昼食後は小休憩を取り、メンバーお楽しみのプレゼントタイム☆

わくわくしながら待っていると、少々太めのトナカイさんと、アジアンビューティーなサンタさんが！！

それぞれが予めリクエストしていたプレゼントをもらい、ニコニコ顔の撮影で締めくくりました。

クリスマス会にはお世話になっているボランティアの方もご招待しています。
愛実の会に興味のある方、空いた時間にボランティア活動をしてもらいかな、という方がいらっしゃいましたら是非気軽にお越しください。

そして楽しいクリスマスと一緒に過ごしましょう。



紙風船

2010年を迎え皆さまいかがお過ごしですか？紙風船は年末年始も、色々な活動を行って来ましたので、ご紹介していきたいと思ひます。

12月レクリエーション クリスマス会



昨年12月にクリスマス会を行いました。たくさんのボランティアさんと一緒に人間すごろくや2人羽織、マジックやヒゲダンスなど、とても楽しい時間を過ごすことができました。最後には黒ひげサンタ！？の登場プレゼントは何か？とても楽しく盛り上がったクリスマスパーティになりました。

今回の月一会は人形劇団「むすび座」の方にゲストに来ていただきました。実際に人形を見せて頂いたり、色々なお話を聞く中で、作品づくりの苦労や厳しさ、また表現一つでいかに人形が生きてくるかなど、実際に目でみて感じる事ができました。今回の月一会は新作づくりに取り組む紙風船にとっても、貴重な時間となりました。

ご協力ありがとうございました。



1月 月一会

NPO法人 愛実の会新年会・成人祝いの会



1月27日（水）に昨年に引き続き、瑞穂区にあるレストラン・エルダンジュにて、愛実の会新年会・成人を祝う会を行いました。今年は1名の方が成人を迎えられ、成長の様子をまとめたスライドを上映し、みんなでお祝いをしました。

また、今回のスペシャルゲスト「ボランティアバンドオブリガード」の皆さんによるバンド演奏もあり、会場はとても盛り上がりました。一緒に歌うメンバーや、音楽に合わせて体を揺するメンバーなど、それぞれ楽しい時間を過ごす事ができたように感じています。そして、最後の福引き大会では、みんながドキドキしながら自分の番号を待っている姿がとても印象的でした。

2010年のスタートと成人の良き門出をたくさんの方とお祝いする事ができ、とても嬉しかったです。

みなさま、今年も愛実の会をどうぞよろしくお願い致します。

私が先生になったとき

南 寿 樹

私が大学生だったとき、今にも壊れそうなプレハブの自治会室の出入り口の上、天井との間にその詩はあった。色あせたB紙に黒のマジックインクで力強く書かれた詩は、私をはじめ教師を目指す仲間たちを元気づける応援歌のようだった。それが「私が教師になったとき」だ。

私が先生になったとき 自分が真理から目をそむけて 子どもたちに本当のことが語れるか

私が先生になったとき 自分が未来から目をそむけて 子どもたちに明日のことが語れるか

私が先生になったとき 自分が理想を持たないで 子どもたちにどうして夢が語れるか

私が先生になったとき 自分に誇りを持たないで 子どもたちに胸を張れと言えるか

私が先生になったとき 自分がスクラムの外にいて 子どもたちに仲良くしろと言えるか

私が先生になったとき 自分の闘いから目をそむけて どうして子どもたちに勇気を持ってと言えるか

この詩は、教師をめざす学生運動家の誰かの作ではないかということで詠み人知らずという。今振り返ってみると、この詩こそが私にとって「自分づくりの原点」であることに気づいた。

1972年「愛知不就学をなくす会」が結成されたとき、県下には1000名を超える就学猶予・免除の子どもたちがいたという。「僕はおむつをしてもいいから学校に行きたい」という声は行政には届かなかったようだ。やがて運動が実り、1979年に養護学校の義務制は実施された。その3年後、私は新任として三好養護学校に赴任した。

「障害が重いというだけの理由で、教育を受けられない子がいること知ってる?」「・・・」
「それは仕方のないことか?その子やその親の声を教師が聞かずに誰が聞くんだ?」「・・・」
1ヶ月がたったころ、先輩の安藤一巳先生（愛知県高等学校教職員組合）が私を揺さぶる。

私は高等部に配属され、新任ながら総務部で「足切り4原則」の「入学選考」の仕事を言われるままにしていた。「足切り4原則」というのは高等部受験の条件として①自力通学が出来ること②身辺処理が出来ること③高等部の教育についていけること④就職の見込みがあることというものだ。私はその条件に合わない生徒を切り捨てる悪魔のような当事者だったのだ。

安藤先生は、私を組合に誘った。でもわたしは躊躇（ちゅうちょ）した。なぜなら「組合員は、権利ばかりを主張する」との悪評があったからだ。しかし一方で「財政が厳しい」と言われれば、障害の重い子の教育の切り捨てにも目をつぶる、物言わぬ教職員集団にも違和感があった。

「子どもたちの権利を守ろうとしないで、どうして教師ができる?」そのとき心に聞こえてきたのがあの詩「私が教師になったとき」だ。————— 私は組合に入った。

その後、管理職の嫌がらせも乗り越え、「親や子どもたちの声を届ける」要求運動に取り組んだ。保護者と一緒に行政や議会に陳情に行ったり、また卒後の福祉の世界に仲間をつなげる活動をしてきた。いつも親や仲間の笑顔に囲まれ、逆に元気をもらった。私はそんな自分づくりができたことを誇らしく思う。—————さて私をしょうがい者運動につなげてくれた安藤先生は昨年ご逝去された。私は、後継者にこの詩と共に私の思いを伝え、運動をつなげたいと強く思う。

第5回定例会報告

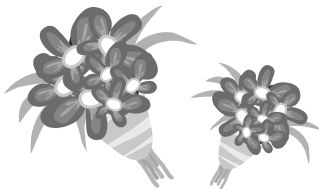
1月23日(土)に今年度最後の定例会を開催致しました。4月1日より活動場所を移しての新しいスタートを迎えるにあたり、今回は一番の土台である「理念」について考えようということになりました。大きな転換期にあるからこそ、心落ち着けて理念について考えることが必要であろうと思い、企画いたしました。最初に少しでも移転の事を報告した後、従来の理念と込められた思いを確認したうえで、グループに分かれて大切にしたい事を話し合い発表しました。様々な意見が出ましたが、キーワードになることとして①個性の尊重(メンバーもアシスタントも)②コミュニケーション(メンバー同士、メンバーとアシスタント、アシスタント同士)③メンバーへの関わり④地域(社会)との関わり(つながり)、という内容が出されました。日々の歩みから理念を考える視点と、理念から日々の歩みを見つめる視点の両方が大切だと感じております。今回出された内容について運営会議(責任者会議)でさらに協議した上で、3月13日(土)に開催の総会において、理念の確認をする予定でおります。

なお、この定例会については次年度も引き続き実施して参ります。そして内容については従来と同じく会報にて皆様に報告してまいりたいと思っております。

中森由哉

愛知県弁護士会様より人権賞をいただきました。 2010年2月10日中日新聞にて掲載

2010年2月9日愛知県弁護士会様より、愛実の会島しづ子が人権賞を受賞し賞金を頂きました。障がいをもつ方たちの生活の場をつくろうという、障がい者支援の在り方を評価して頂き、表彰していただくこととなりました。愛実の会一同活動に対して表彰して頂いたこと、大変うれしく感じています。



「愛実の会」島さん
弁護士会が人権賞
障害者支援を評価
県弁護士会は九日、
NPO法人「愛実の
会」の島しづ子理事長
(六)名古屋市内に
に人権賞を贈った。
島さんは一九八七
(昭和六十一年)ごろか
「昭風船」「大地の家」
ら重度の知的障害者の
生活支援を始めた。八
九年からは、特別支援
学校を卒業した障害者
が参加できるチャリテ
ィーコンサートやクリ
スマスを開き、交流
の場を提供。二〇〇七
年にはこれらの活動を
統合し、名古屋市内に
「紙風船」「大地の家」
の三施設を営む「愛実
の会」を設立した。
弁護士会は「介護が
困難になる成人の障害
者に生活の場を作ろう
との考え方に基づき、
障害者の人格を尊重し
ている点を高く評価し
た」と授賞理由を説明
している。

移 転 特 集

◆移転の経緯

4月1日 港区木場町に 移転リニューアルオープン！

「愛実友だちの家」「大地の家」「紙風船」と3つのデイサービスを充実させ運営して来ましたが、同時に建物については老朽化や耐震性、狭さ・寒さなど多くの不安を抱えながら活動を進めて来ました。昨年度より移転の問題が話題となり、物件の情報収集を行う中、今回港区木場町に鉄骨平屋造り610㎡の物件にめぐり会いました。見学会を行ったり、みんなで慎重に話し合いを重ね、昨年12月23日に行われた臨時総会にて、新年度の4月に3つのデイが1ヶ所に集まり、新たなスタートを切ることが決まりました。

◆資金計画

改装にかかる費用総額4700万円の資金を調達するために自己資金の他、寄付金を募り、更には個人借入や銀行への融資をお願いして計画して来ました。資金繰りには大変苦労しましたが、多くの方々のご協力により十分な資金を調達することができました。

空調設備と厨房機器につきましてはリースにより設置することになりましたが、借入金・融資の返済も2017年度末までに完済できる予定でいます。本当にみなさまのご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

[初期投資額]

[調達方法]

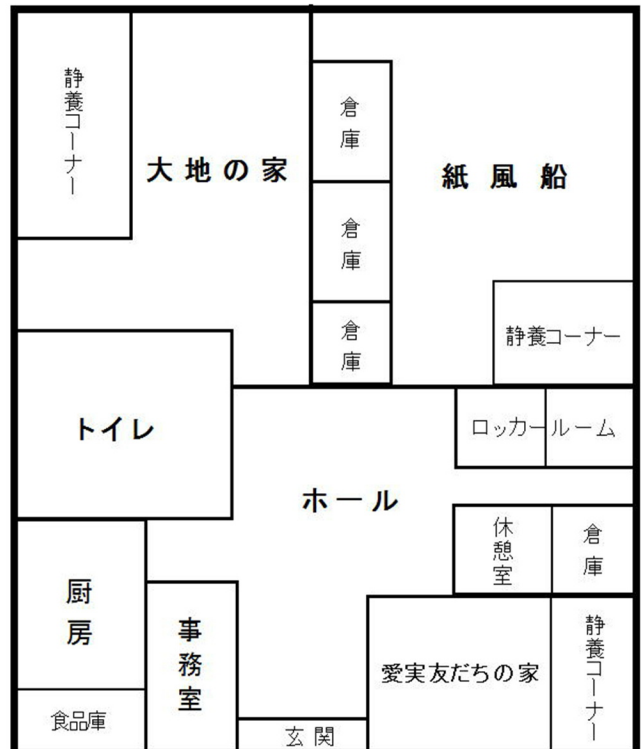
改装工事費	3,700万円	自己資金	200万円
入居初期費用	200万円	個人借入・寄付	2,500万円
備品・その他	800万円	銀行融資	2,000万円
合計	4,700万円	合計	4,700万円

◆改装のポイント

- ① 活動のスペース
ゆとりのある各デイの空間とゆったりできる静養のコーナーを確保し、今までの3つのデイの独自性を保持できるよう配慮しています。
- ② 車いす用トイレ
車いすごと中に入り、移乗の介助やメンバーの使い安さに合わせたタイプをいろいろ検討して、車いす用トイレを男女5か所ずつ確保しました。
- ③ バリアフリー
遮光・防音・防災へも十分に配慮して、建物の全館オールフラットのバリアフリー化を実現しています。
- ④ 給食サービス
食事の配送がなくなり、家庭的で温かな食事を提供できるよう、厨房の設備や配膳の方法を検討しています。
- ⑤ 事務所機能
事務所が現場と一体化されることで、様々な情報の伝達や連携がスムーズになります。

木場町移転先 見取り図

鉄骨平屋造り610㎡



～愛実の会の将来に向けての課題～

今回の移転には、3つのデイが1つなることで様々な思いがめぐりました。それは活動のスペースが広がる一方で、空間のゆとりはできますが集まる人数が増えることで、それぞれのデイの持ち味がなくなってしまうのではないかという点です。私たちは今まで狭いながらも小規模ならではの家庭的な温もり、心と心の通い合うケアを大切にしてきました。心のゆとりがなくてはメンバーの声をちゃんと聴くことも出来ません。移転しても大規模施設化せずに3つのデイの独自性を消すことなく、一人ひとりが大切にされメンバーにとって安心できるデイをこれからも継続させていかなければなりません。また、働くアシスタントにとっても、ゆとりの中で働き甲斐のある職場を目指し、更には将来の様々な課題に対してみんなで共に歩む集団になっていくことが大きな課題であると考えています。愛実の会は港区木場町を新しい拠点として、将来に向けて新たなスタート台に立った気持ちで、これからもみなさんと共に歩んでいくことを切に願っています。今後とも愛実の会へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

- ① 『愛実友だちの家・大地の家・紙風船』3つのデイのそれぞれの独自性を生かしながら、メンバーが生き生きとできる日中活動を充実させていきます。
- ② できる限りマンツーマンのケア体制を組み、一人ひとりのメンバーの声を大切にしながらゆとりある心と身体のケアを目指していきます。
- ③ 居宅における個々のライフステージへの課題について取り組んでいきます。
- ④ 名古屋南部において、他の事業所との連携を取りながら、重度身体障がい者の支援活動を促進させていきます。
- ⑤ 地域に開かれたコミュニティとして、障がいのある人もない人も共に支え合う社会の実現を目指していきます。
- ⑥ 3つのデイが愛実の会の理念(目標)を共有しながら、相互の理解を深め、互いに協力していきます。

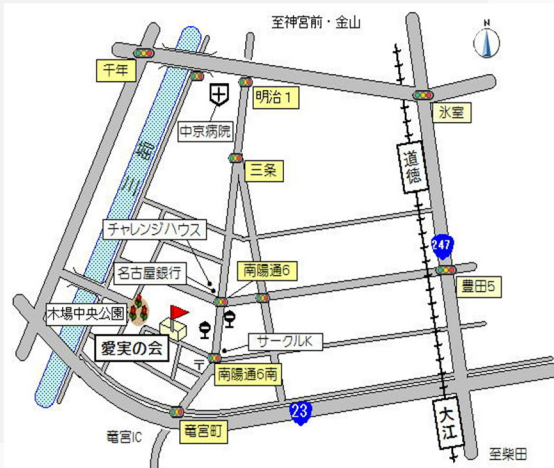
完成内覧会のお知らせ

日時 3月31日(水) 午前10:00~12:00

場所 名古屋市港区木場町9-24
真栄マンションB棟
交通 市バス南陽通6丁目下車徒歩5分
神宮東～伝馬町～南陽通6

※ 駐車スペースがないため公共交通機関をご利用ください

どうぞお気軽にお越し下さい!



◆賛助会費/NPO 愛実の会の活動に対しての費用

武嶋 恵子 木村 寛子 須田 静代 国方 恵子 坂田 昌子 足立 克己 橋詰 四郎
 吉田 弘 瀬口 昭代 町田 隆哉 鈴木 洋子 戸田 伊助 榊原 ちる 若山 直子
 瀬川 高代 杉山 美鈴 大坂 晴一 阿部 健二 本田 正恵 伊藤あつ子 山本真由美
 成瀬絵里子 河村比佐子 河合みち子 高島明日香 八木隆太郎 宇田ゆき子 細川美代子
 前沢まき代 岩田 妙 鈴木裕代 品川健一郎・美樹 豊田幼稚園

◆土地建物/将来の NPO 土地建物取得費用

中山 奥行 中森 照子 中森 由哉 八木隆太郎 細川美代子 杉山敏・清美

◆紙風船夢づくり/紙風船の人形劇製作、公演活動に関する費用

鈴木 善和 大井 勝三 潮田 則行 中森 由哉 島 しづ子 酒井 淳子 吉野 利江
 宮原 祐子 可知 律子 戸田 伊助 大坂 晴一 中森 由哉 田村 芳江 小出 朋子
 田中 正文 田中 孝子 田中 博史 数原 陽子 鈴木 善文 渡辺 孝之 川口いづみ
 五十川俊一 成瀬絵里子 板倉美恵子 五十嵐和夫 細川美代子 堀池 育史 佐藤 邦甫
 上野 嶺 浅井 進 鈴木 都 前沢まき代 石井昌也 木村由美子 市野 ちず
 品川健一郎・美樹

◆NPO 資金/NPO の運営に関する費用

林 優華 島 しづ子 吉澤 道子 細川美代子 白田 治子 八木隆太郎

◆寄付・その他

鈴木 武二 村上 裕子 石川 瑤子 小池 耕一 須田 静代 宇野 伸一 浦部 龍之
 中川 鋪子 坂田 昌子 瀬川 高代 鶴崎 祥子 塚田 正昭 坂口 良彬 比企 敦子
 水野 幸子 水野 享好 岩崎 武男 倉田 節子 前山美恵子 溝口キミ子 拓植久美子
 大森美佐子 石田伊志子 堤 肇 高橋佐喜男 三矢かな江 中西加津子 福井 清
 柏木 実 後藤 聡 細川美代子 前沢まき代 森岡 広美 川添 勉 中京教会
 浅井志朗・真希 坂下教会 田瀬教会 上大岡教会 在日小倉教会 豊田教会
 天白教会 久が原教会 栄冠幼稚園 大宮共立教会 豊明新生教会 改革派金沢教会
 埼玉新生教会 南山幼稚園 まきば幼稚園 済美高等学校 名古屋桜山教会シャロンの会
 矯風会名古屋第一支部 矯風会名古屋第二支部 名古屋新生教会教会学校 各務原教会
 愛知守山教会女性の会 華陽教会婦人会 刈谷教会教会学校 京都みぎわキリスト教会

◆移転改装費

真木 芳子 志村 信夫 加藤 久雄 酒井 淳子 竹村 倫子 瀬口 昭代 大村 恵子
宮原 祐子 宮嶋 映子 奥山 喜正 佐藤 全弘 数原 陽子 戸田 伊助 小松 康宏
佐藤 仁彦 細田 和民 中森 照子 中森 由哉 大串 保男 小川 尚代 若山 直子
川合 史朗 二村 有紀 田村 芳江 伊藤 光男 見木 靖美 水島 三造 水野 享好
柴田 京子 宮川 優子 本田 正恵 眞山 成子 渡辺 孝之 細川美代子 板倉美恵子
松下智恵子 成瀬絵里子 伊藤あつ子 上野 嶺 柏木 実 橋口 洋 桐村 剛
榎本久美江 松田久仁子 川口いづみ 下村 汎夫 風間 文子 中谷 塩子 金田 好美
西川 道子 鈴木 裕代 前沢まき代 三好鐵雄・理恵 野崎弘一・典子 佐野都吾・美穂
市原信太郎・誉子 金沢牧人・伊津子 林昭碩・恵子 飛騨高山教会 華陽教会
名古屋ワイズメンズクラブ・メネット会 名古屋中央教会

ご協力いただき本当にありがとうございます。大切に活用させていただきます。

【助成報告】

チャリティーウォークソン

去る2009年5月24日、鶴舞公園にて開催された在日米商工会議所・名古屋国際学園主催チャリティーウォークソンのイベントに参加させていただきました。そして、この度総額10万円のご寄付を頂けることとなり、一同大変喜んでおります。ありがとうございます。活動の充実や発展の為に大切に活用させていただきます。また次回もぜひ参加させていただきたいと思っております。

知多信用金庫「夢サポート」事業

知多信用金庫様による「夢サポート」事業より、紙風船の人形劇製作費として30万の助成金を頂きました。たくさんの応募団体の中から、紙風船の人形劇活動が地域社会の発展につながる活動だと選んで頂き本当に嬉しく思います。この費用は現在取り組んでいる新しい人形劇の製作の費用として大切に活用させていただきます。
本当にありがとうございます。（1月26日贈呈式出席）

任意団体「障害者・友だちの会・愛実」受付分

公園の陽だまりに7、8羽の鳩が朝の温もりを求めて太陽に向かって体を大きく膨らませ、じっとしていました。見ている私もまるまるの着膨れ、何か可笑しさが湧いてきました。木々の枝もきれいに剪定されて、近づく春に備えているようでした。皆様のところは如何ですか。（長村）

「寄付金個人・教会」

敬称略（09年12月1日から10年1月28日まで）

榊原喜代子 霧尾 共造 堀田 寿子 門山 勝利 門山むつ子 原田 忠 渡井 秀雄 大藪 礼子
中谷 塩子 塚田 高子 安藤 香代 横井 忠弘 林 久子 徳永 五郎 伊藤みつ子
岡崎茨坪伝道所 中部学院大学宗教委員会 豊橋教会婦人会 平塚YWCA 豊山教会
高蔵寺ニュータウン教会 在日大韓基督教大阪教会女性会 愛知教会 八事教会 聖心会修道院
野並のぞみ園 聖天伝道所

「賛助会費個人」 吉谷尚之（複数回） 寺田仁計

「土地建物基金個人」 岩田太万亀（複数回）

🍀 スタッフ募集中 🍀

① 看護スタッフ

勤務内容：生活介護事業所（通所サービス）における医療的ケアと介護を行います。
 募集人員：1名 随時採用
 勤務時間：10：00～16：00（応相談）
 勤務日：週2～4日（水曜日と土曜日を含む）
 時給：准看護師 1,200円～ 正看護師 1,300円～

② 調理スタッフ

勤務内容：一日40食程度の利用者・スタッフの給食を2名体制でつくります。
 勤務時間：9：00～14：00
 勤務日：月～土のうち週3～5日
 時給：800円～850円

※ 栄養士または調理師の資格のある方もしくは調理経験のある方

③ 送迎スタッフ

勤務内容：送迎用のリフトカーを運転し、利用者の方の自宅と施設の送り迎えを行います。
 勤務時間：午前 9：00～10：30
 午後 15：30～17：00
 勤務日：月～土随時
 時給：800円（普通免許でOK）

興味のある方はぜひ
 一度見学に来てください！
 担当：中森 (052-700-1120)

特定非営利活動法人愛実の会 事務局
 居宅介護事業所 あみ

〒456-0034
 熱田区伝馬1-8-1-201
 TEL 052-700-1120
 FAX 052-700-2383
 e-mail npo-aminokai@s.f.commufa.jp

大 地 の 家

〒456-0034
 熱田区伝馬2丁目28-14
 「名古屋働く人の家」内
 TEL 052-681-6488
 e-mail ami_daichi01@yahoo.co.jp

紙 風 船

〒457-0845
 南区観音町5-109
 TEL/FAX 052-694-5458
 e-mail ami_kamifuusen@yahoo.co.jp

愛 実 友 だ ち の 家

〒456-0057
 熱田区五番町18-29
 TEL/FAX 052-651-5953
 e-mail ami-tomo@na.commufa.jp

「NPO愛実の会」ご支援のお願い

郵便振替 座番号 00850-6-187490
座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

- ◆ 賛助会員 NPO愛実の会の活動に対しての費用
- ◆ 土地建物取得 将来のNPO土地建物取得費用
- ◆ 紙風船夢づくり 紙風船の人形製作費、公演活動に関する費用
- ◆ NPO資金 NPOの運営に関する費用

1□1,000円（NPO資金は1□3,000円）何□でも結構です。
 ご支援していただける項目を振込用紙に記載の上ご協力お願いいたします。

※ 年2回（夏号と冬号）に「振込料金加入者負担」の「払込用紙」を同封させていただいています。
 ご利用下さい。